

# 一年の終わりに

## 感謝と展望を



(株)西の丸  
代表取締役社長

西谷 淳

皆様、こんにちは。

12月に入り、2024年も残りわずかなりました。この時期は、一年の終わりを迎えるにあたり、過去一年の出来事を振り返りながら、来る年への期待と計画を練る良い機会となっています。

元日、令和6年能登半島地震が発生し、その後も日本各地で震度4〜5の地震が起きています。私たちはいつ何時被災しても行動できる準備が必要であるとの考えから、事業継続力強化計画を進めています。

新紙幣発行やパリオリンピックが開催された夏は、身の危険を感じるような暑さでした。8月末に発生した台風10号による被災地への支援活動では、一時的に店舗を休業し、必要な支援を提供するために私たちは力を合わせ、伊勢ヶ浜の流木撤去作業も大きな成果を挙げました。これらの活動を通じて、一人ひとりが地域社会に貢献する大切さを再認識するとともに、地域の自然保護と美観維持に寄与することができ、地域社会とのつながりをより深めることができました。

スポーツ界では、前人未到の50-50を達成し、ワールドシリーズを制覇した大谷選手から多くの方が刺激や学びを得たのではないのでしょうか。

私たちも今年は多くの挑戦と変化がありました。私たちが、社内外を問わず多くの方々の支えがあったおかげで、多くの困難を乗り越えることができました。来年も、私たちは明るい夢や希望のある未来を目指し、さまざまな分野・拠点で、ささやかな生きがいの提供をし続けていきます。新たな年に向けての計画には、これまでの学びを生かしたさまざまな新しい取り組みが含まれていくことでしょうか。これらの取り組みが、さらに多くの方々との協力の橋渡しとなり、相互の成長と成功につながることを期待しています。

12月を迎え、年末の準備で忙しいかと思いますが、この年が皆様にとって有意義なものであったことを願いつつ、新しい年への健康と幸せを心からお祈りいたします。

今年一年、本当にありがとうございました。来年も、どうぞ宜しくお願いいたします。